

**製品名: ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13185**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SH2D2A
別名	SH2D2A; SCAP; TSAD; VRAP; SH2 domain-containing protein 2A; SH2 domain-containing adapter protein; T cell-specific adapter protein; TSA; VEGF receptor-associated protein
遺伝子 ID	9047.0
SwissProt ID	Q9NP31
免疫原	抗血清はヒト SH2D2A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

**背景**

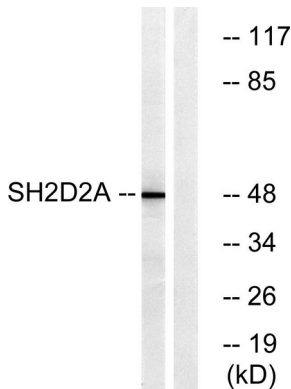
この遺伝子は、T細胞シグナル伝達に機能すると考えられるアダプタータンパク質をコードしています。マウスの関連タンパク質は、

リンパ球特異的タンパク質チロシンキナーゼの活性化を担い、下流のシグナル伝達に関与しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010年3月],機能: T細胞活性化の制御に関するT細胞特異的アダプタータンパク質である可能性があります。CD4-p56-LCK依存性シグナル伝達経路において役割を果たしている可能性があります。また、正常および病的な血管新生においても重要な役割を果たす可能性があります。KDRと内皮細胞の生存と増殖に重要なエフェクタータンパク質との相互作用を促進および制御するアダプタータンパク質である可能性があります。誘導: T細胞の活性化後、速やかに誘導されます。しかし、この遺伝子は活性化T細胞の長期培養において発現し続けます。PTM: チロシン残基がリン酸化されています。類似性: 1つのSH2ドメインを含みます。サブユニット: KDRと相互作用します。組織特異性: 発現は免疫系の組織、特に活性化T細胞に限定されます。末梢白血球、胸腺、脾臓で発現します。脳、胎盤、骨格筋、前立腺、精巣、卵巣、小腸、結腸では、発現が非常に低いか検出できません。非刺激T細胞では低レベルで発現しますが、正常な休止期B細胞や活性化B細胞では発現しません。PubMed:10692392によると、発現は活性化T細胞に限定されず、血液細胞系、内皮、心臓、肺、肝臓などの他の細胞や組織でも強く発現しています。

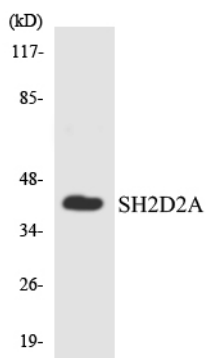
## 研究分野

VEGF;

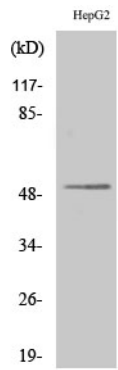
## 画像データ



SH2D2A抗体を用いたHepG2細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SH2D2A抗体を使用したHUVEC細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



Lad ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析